

コンデンサ型ワイヤレスマイクロホン

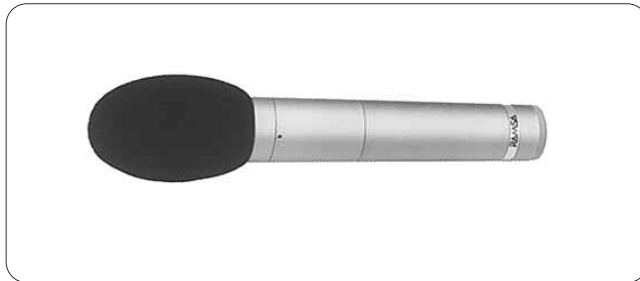
品番 WX-TA820-S

取扱説明書

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使うと上手に節電



技術基準適合証明品

陸上移動局免許申請対象品

このたびは、ラムサコンデンサ型ワイヤレスマイクロホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

特長

本機はダイバシティ／コンパンダ方式ワイヤレス受信機WX-R810、WX-R820、WX-RJ800、WX-RA700/H、Lと組み合わせて使用するスピーチ用ワイヤレスマイクロホンです。

- PLLの採用により、A型71波の周波数設定ができます。
- インタビュー用として、音質変化の少ないブロードな単一指向性になっています。
- 送信出力切換スイッチにより、10 mWと2 mWの切換ができます。
- 高強度エンジニアリングプラスチックを主体とした電池ケースにより、落下衝撃に強い構造となっております。
- 高域までひずみが少なく、素直で抜けの良い音質を提供します。
- 電源表示回路の採用により乾電池の交換時期がわかります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

屋外で使用のとき雷が鳴り出したら、体から離す。



落雷の原因となります。

- ただちに使用をやめ、体からマイクを遠ざけてください。

電池は充電・分解・ショートしないで



禁止

電池の破裂や液漏れにより火災、けが、やけどの原因となります。

注意

電池は極性（プラスとマイナス）を正しく入れる



間違えると、電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となります。

ニッカド電池は使わない



万一、内部が破損していた場合、発火の原因となります。

使用上のお願い

本機のご使用にあたっては、電波法により陸上移動局の免許が必要ですので、免許申請の手続きを行ってください。また付属の技術基準適合証明証書は、申請の際必要ですのでなくさないようにご注意ください。

■技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品であります。機器一台一台にその証明番号（証明ラベル）が貼ってあります。みだりに剥がしたり、損傷の無いようご使用願います。

違法改造しないで

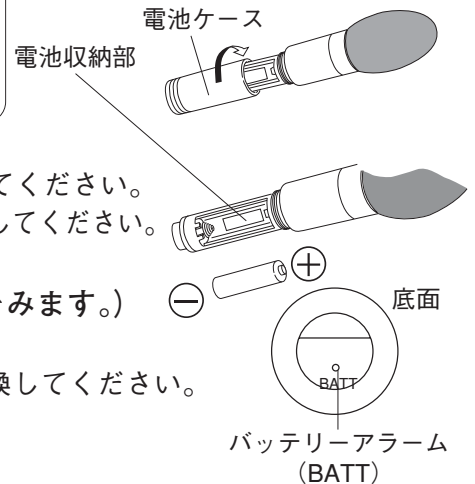
マイク部を分解したり、内部の部品にさわったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

- 受信機は必ずWX-R810、WX-R820、WX-RJ800、WX-RA700/H、/Lを使ってください。その他の受信機では受信しません。
- パワーアンプ、ビデオモニタ、測定器などの発熱の多い機器の上や、夏の閉め切った車の中に放置しないでください。保存はなるべく乾燥したところで行ってください。
- 水にぬれた場合はすぐに乾電池を抜いて、乾いた布でふいてください。
- 高精度の調整がしてありますので、強い衝撃を受けたり、床などに落としますと特性が変化することがあります。取り扱いには充分ご注意ください。本機に衝撃などが加わると受信機より衝撃音が発生しますので、衝撃を加えないようにしてください。
- 本機は、周囲温度0℃～+40℃の範囲でご使用ください。10℃以下になりますと、使用電池の寿命は短くなりますので、動作時間などにご注意ください。

乾電池の入れかた・確認について

お願い

- 電源スイッチがONの場合、乾電池を入れるとすぐに動作状態になります。使用しないときは、必ず乾電池を取り出してください。
- 強い衝撃などを加えた場合、電源表示（バッテリーアラーム）が赤色になる場合があります。その場合は電池を一度外し、再装着することにより正常表示（緑色）に復帰します。
- 電池端子／電池電極が汚れた場合は、接触不良またはノイズが発生する場合があります。その場合は電池端子／電池電極の清掃をしてください。



- ①電池ケースを矢印方向にまわし、一度止まるまで下にずらします。
- ②単3乾電池1個を電池収納部の⊕⊖の表示に合わせ、⊖側より入れてください。
※乾電池を取り出すときは、乾電池を⊖側に押しながら、⊕側から取り出してください。
- ③電池ケースをもとどおりにしっかり閉めます。

■乾電池の確認のしかた（バッテリーアラームの点灯状態をみます。）

- 緑に点灯 → 正常な動作をします。
- 赤に点灯 → 乾電池が消耗しています。早めに新品の乾電池と交換してください。
- 点灯しない → 新品の乾電池と交換してください。

上手な使いかた

■ハウリングについて

本機はブロードな単一指向性となっているので、せまい室内でしかもスピーカの近くで使用した場合にはハウリングをおこすことがあります。その場合はアンプのボリュームをしばらく移動してください。

■クリック音の防止について

乾電池の交換、出し入れのときは、クリック音防止のためアンプやミキサーなどのボリュームをしばらくしてから行ってください。

■雑音のないきれいな音で聞くには

このワイヤレスマイクはワイヤレスアンテナとの距離を屋外は見通し距離約90 m、屋内は約30 mまで離してご使用になれます。雑音が多いときは、つぎの点にご注意ください。

- 雑音が入る場合は、極力ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離は2～10mにしてください。なお、ワイヤレスアンテナから2 m以内に近づきますと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などをおこすことがあります。
- 受信機やワイヤレスアンテナはデジタル機器や高周波雑音の発生する機器などからできるだけ離して設置してください。（5 m以上）

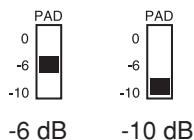
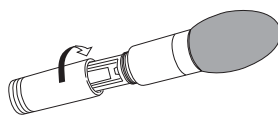
■ご使用の際は

- 送信機同士の距離は50 cm以上離し、送信機と受信機（アンテナ部）との距離は2 m以上離してください。周波数の干渉により混信を起こすことがあります。
- 本ワイヤレスシステムは、回転機、変圧器、自動車のイグニッション雑音の影響を受けにくい場所を選んで使用してください。
- 周囲に電波が反射するような建造物のないところでは、受信機または受信アンテナを高いところに設置することにより、送信機からの電波を受けやすくなります。
- 送信機と受信機のあいだに、電波を吸収するコンクリートや大勢の人が入りますと、受信レベルが低下し、到達距離が短くなります。
- 受信機と送信機は同じバンド同士を組み合わせてください。
- 多チャンネル同時運用の際は、送信していない空チャンネル（送信機をOFFにしたチャンネル）の受信機はOFFにしてください。

パッドスイッチについて

パッドスイッチは通常0 dBに設定されていますが、大きな入力加わり、音がひずむ場合は-6 dB、または-10 dBに切り換えてください。

- ①電池ケースを矢印方向にまわし、下にずらします。
- ②スイッチを-6 dB、または-10 dBに設定します。
- ③電池ケースをもとどおりにしっかり閉めます。

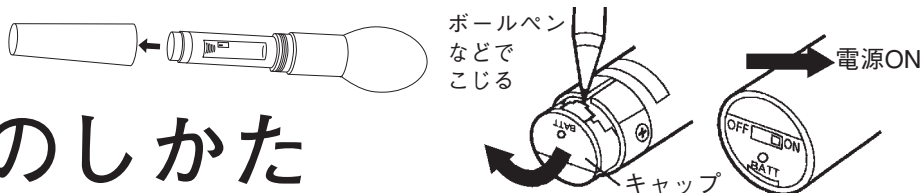


最大入力音圧のめやす

パッドスイッチ	最大入力音圧
0 dB	130 dBsPL
-6 dB	136 dBsPL
-10 dB	140 dBsPL

電源スイッチについて

- 電池ケースを電池交換時と同様に下へずらし、さらに下へ強く引くと、電池ケースがはずれます。
- 電池ケースをはずし、キャップをはずすと、電源スイッチがあります。
- 電池ケースを下から上へ強く押し込みます。
- 電源スイッチを使用しない場合は、そのまま（キャップをはずさずに）お使いください。電源はONになっています。
- 電源スイッチをON/OFFする場合は、クリック音防止のため、アンプやミキサーなどのボリュームをしばってから行ってください。



周波数設定のしかた

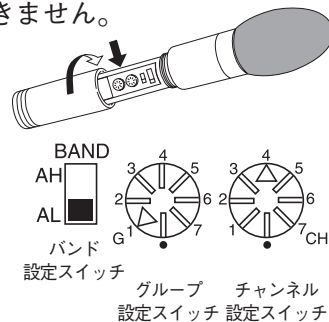
- 受信機とマイクは、同じ周波数に設定してください。
- 同時に使用するマイクは、全て同じグループにし、全て違うチャンネルにしてください。
- 全ての周波数表において周波数表示していないところにグループ・チャンネルを設定しても送信できません。
- 違う種類の周波数バンド（AH、AL、B）を同一場所で、同時に使用することはできません。

■周波数設定のしかた

- ①電池ケースを矢印方向にまわし、下にずらします。
- ②バンド設定スイッチを受信機と同じ設定に合わせます。
- ③グループ設定スイッチの△を受信機のグループと同じ数字に合わせます。
- ④チャンネル設定スイッチの△を受信機のチャンネルと同じ数字に合わせます。
(指の腹を押し付け回転させてください)

グループ設定スイッチ、チャンネル設定スイッチは左へ回しきると1の位置で止まります。

- ⑤電池ケースをもとどおりにしっかり閉めます。



■周波数表（単位MHz）

●AH

チャンネルグループ	1	2	3	4	5	6
1	801.625	801.875	802.625	803.250	804.500	805.000
2	801.750	802.000	802.500	803.375	804.000	804.375
3	802.125	802.375	802.875	803.750	804.125	804.750
4	802.250	803.000	803.500	804.625	804.875	805.250
5	803.125	803.625	803.875	804.250	805.125	
6	802.750					

●AL

チャンネルグループ	1	2	3	4	5	6
1	797.125	797.375	798.125	798.750	800.000	800.500
2	797.250	797.500	798.000	798.875	799.500	799.875
3	797.625	797.875	798.375	799.250	799.625	800.250
4	797.750	798.500	799.000	800.125	800.375	800.750
5	798.625	799.125	799.375	799.750	800.625	
6	798.250					

■グループについて

- ①同一場所で、複数の送信機を同時に使用する場合
 - 1つのグループに統一して使います。
 - グループ1~4の中から1つ選んでシステムを組めば、最大6チャンネルまで使えます。
 - グループ5は5チャンネル、グループ6は1チャンネル使えます。(グループ6は複数のマイクは使用できません。)

■7波の組み合わせについて（7グループについて）

7グループは、1～6グループの中から選定された周波数で構成されていて、次の条件下で、十分に注意して使用したときは、7波の組み合わせも可能となります。

送信機出力	送信機間の距離	受信機と送信機の距離
2 mW	0.5 m以上離す	5 m以上離す
10 mW	1.0 m以上離す	10 m以上離す

●周波数表（MHz）

●AH チャンネル グループ	1	2	3	4	5	6	7
	7	801.625	801.875	802.375	803.000	804.000	804.875

●AL チャンネル グループ	1	2	3	4	5	6	7
	7	797.125	797.375	797.875	798.500	799.500	800.375

■グループ「・」について

- グループ「・」は1～7グループとは使用法が異なり、同一場所で使用できるグループではありません。
- 次の条件下で充分注意して使用することによりAHバンドとALバンドを組み合わせ、最大10波の同時使用を可能にします。

送信機出力	送信機間の距離	受信機と送信機の距離
2 mW	0.5 m以上離す	5 m以上離す
10 mW	1.0 m以上離す	10 m以上離す

10波組み合わせ例

AH22,AH52,AH36,AH・1,AH・3,AL21,AL23,AL42,AL25,AL26

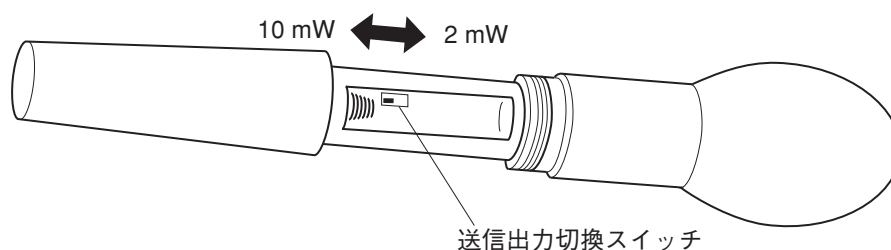
- 単独使用も可能です。
- グループを「・」に設定すると、下表の周波数（MHz）を送信することができます（同一場所で使用できるグループではありません。）

チャンネル		1	2	3	4	5	6	7
バンド	グループ							
AH	・	805.375	805.500	805.625	805.750	805.875		
AL	・	800.875	801.000	801.125	801.250	801.375	801.500	

送信出力切換スイッチについて

送信出力を2 mWにすると、混信を起こしにくくすることができます。

- ①電池ケースを開ける。
- ②電池ケースを取り出し、電池ケース底部の送信出力切換スイッチのつまみを設定する位置にあわせる。



定格・付属品

■定格

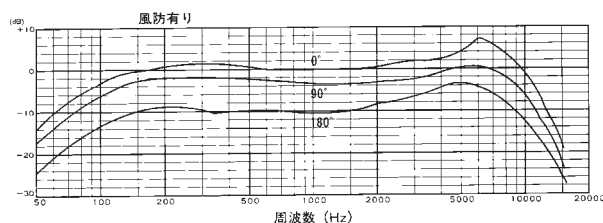
送信周波数：797.125 MHz～805.875 MHz
71波中の1波（周波数表による）
電波形式：F3E
送信周波数偏差：±20×10⁻⁶以内（25±15℃）
占有周波数帯域幅：110 kHz FM
使用電池：単三乾電池 アルカリ LR6(G)1.5V×1
電池寿命：(常温連続使用にて)約7時間
アルカリ LR6(G)
周囲温度：0℃～+40℃
空中線電力：10 mW/2 mW
発振方式：水晶制御PLLシンセサイザ方式
変調方式：リアクタンス変調方式
到達距離：ダイバシティ受信機WX-R810システムにて
見通し距離 約90 m（屋外10 mW時）
最大入力音圧：140 dB SPL（パッド-10 dBにて）

最大周波数偏移：±40 kHz FM以下
基準変調感度：±5 kHz FM（1 kHz 94 dB SPL、
パッド0 dBにて）
入力等価雑音：30 dB SPL以下（Aカーブ パッド0 dBにて）
プリエンファシス：50 μsec
トーン信号：32.927 kHz（±1.6 kHz FM）
音声信号処理：2：1 デシリニア圧縮
周波数特性：50 Hz～15 kHz
ひずみ率：1.0%以下（±12.5 kHz FM）
電源表示：電源電圧 約1.1 V以下で赤色点灯
寸法：φ29.5（最大径）×195（長さ）mm
質量：約210g（電池含む）
仕上げ：ニッケル梨地色艶消塗装

■付属品

ウレタン製ウインドスクリーン 1
マイクロホンアダプタ（PF 1/2） 1
変換ねじ（PF 1/2 → W 3/8） 1
ソフトケース 1
技術基準適合証明証書 1
免許申請の手引き 1

■周波数特性



保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
●修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談
窓口」へ！

■保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・
販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、
よくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

必ず乾電池を取り出してから、お買い上げの販売
店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修
理させていただきますので恐れ入りますが、製
品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望
により有料で修理させていただきます。

便利メモ（おぼえのため記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品番	WX-TA820-S
販売店名	☎ () -		

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
電話 フリーダイヤル 0120-878-410